



公益社団法人 日本航空機操縦士協会  
メールマガジン Vol.94/ 2022/1/17



いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。  
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】 本年もよろしくお願ひいたします
- [2] 【常務理事コラム】 コロナ禍の航空運送事業について
- [3] 【VOICES FEEDBACK】
  - <①Hand Signal 受領と Before Taxi Checklist 失念>
  - <②ダウンウォッシュ>
- [4] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [5] 【お知らせ】 第 43 回 ATS シンポジウム 動画公開
- [6] 【お知らせ】 第 16 回航空気象シンポジウム 資料公開
- [7] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



- [1] 【三役コラム】 本年もよろしくお願ひいたします  
会長 井上伸一



新しい年が始まり早くも半月が過ぎました。メールマガジンの読者の皆様、ご愛読ありがとうございます。

昨年8月のコロナウイルス感染症第5波で国内の一日あたりの感染者数が2万5千人を超えていましたが、10月以降落ち着きを見せて経済活動も徐々に回復へと向かっているかに見えました。しかしながら年が明けてからはオミクロン株の広まりにより感染者数も増加に転じ、直近では再び2万5千人を超える新規感染者数となり、まだまだ気を抜けない状況が続きそうです。

操縦士協会でもこの2年間、委員会・支部の活動や会議などもオンラインを活用するなどの対策を講じて来ました。また、各種のセミ

ナー・講演会・イベントも WEB の利用を主として進めて来ています。一方、対面でのコミュニケーションの良さもあり、可能な範囲で会場を設け WEB も並行して活用しながら取り組みを進めています。

協会では各種の事業を実施していますが、今回は航空の裾野拡大（航空に関心を持っていただく）事業について簡単にご紹介をさせていただきます。

「Fly with us～空のワークショップ～」：航空各社・航空局の協力を得て現役のエアラインパイロット、客室乗務員、航空管制官ならびに旅客担当者が業務の紹介をしたのちに参加者を交え意見交換をします。主に学生を対象として全国各地で開催しています。次に、各地の航空祭などのイベントにブースを設け来場者に航空の魅力伝えていきます。紙飛行機教室や移動可能なポータブル FTD を使用しての体験など楽しみながら飛行機を知ってもらうことを主眼に小中学生から親御さんまで幅広く好評を頂いています。

さらに昨年協会として初めて「私の好きな飛行機」と題してフォトコンテストを実施しました。すでに飛行機に興味を持たれている方々が幅広い年齢層で数多く参加していただきました。協会を知っていただく良い機会が作れたと考えています。

そのほかにもイベントを検討していましたが、この2年間はコロナ禍により実施に至らないものが多くありました。今年はコロナも収束し少しでも多くのイベントやセミナーが実施できることを願っています。

協会活動は会員のボランティアで進めています。ご興味を持たれる方の参加をお待ちしています。本年もよろしくお願いいたします。

★—————

[2]【常務理事コラム】 コロナ禍の航空運送事業について

常務理事 山村洋司

★—————

昨年猛威を振るった新型コロナウイルス（デルタ株）は、秋頃から収束し海外への渡航制限も緩和され、いよいよ海外旅行もコロナ前のように行けるムードが高まっていました。しかしその期待を裏切

るが如くオミクロン株の出現により、再びコロナの脅威にさらされ海外旅行も気軽に行けなくなってしまった。しかし国内においては、コロナワクチンの2回接種の効果もあり、オミクロン株の脅威はあるものの、新規陽性者数は落ち着き、国内旅行は元に戻りつつあります。一昨年末コロナの自粛により帰省を控えていた人々も、昨年末は2年ぶりに帰省した人も多く国内線も増便しました。国際線に関しては、海外への渡航制限が続いている事もあり日本人の利用は少ないままとなっていますが、東南アジアから（又は東南アジアへ）の成田での乗り継ぎ旅客が増え、現在の国際線は外人ばかりです。コロナ前は、都内の人の利便性を考慮して、国際線は成田から羽田空港にシフトする傾向にありましたが、前述のように現在は日本人利用者が少なく乗り継ぎに便利な成田空港に旅客が集まるので、羽田空港から成田空港に運航便を戻す事も検討されています。羽田空港から増便する為の第2ターミナル（国際線）は未だに利用されていません。

一方でコロナ禍の「巣ごもり需要」の拡大や海上輸送の混雑が原因で航空貨物の需要は高まっています。航空会社は、国際線の旅客需要が少ない中、旅客機に旅客を乗せず貨物だけを搭載した（NO PAX）便を運航する事で採算を上げようと努力しています。コロナ禍の国際航空貨物輸送に関して興味がある方は、ホームページから「パイロット誌」パイロット 2021 Summerに掲載されているので参照してください。

コロナとの戦いは、まだまだ続くものと思われていますが、一日でも早く元の生活に戻れる事を期待しています。

★—————

### [3] 【VOICES FEEDBACK】

<①Hand Signal 受領と Before Taxi Checklist 失念>

<②ダウンウォッシュ>

★—————

<①Hand Signal 受領と Before Taxi Checklist 失念>

WX も良好、Threat も少ない状況だった。T/O Briefing においては、Threat が少ないため意識レベルが下が りやすいので、特に積極的な Communication で Threat を共有、Countermeasure を打ち適切な意

識レベルを維持しようという内容の Briefing を行った。

また、風の変化による RWY CHG の可能性もあり、Dispatch でも共有していたが、出発準備もできたこと、風もさほど南に回っていないことから、RWY CHG の可能性は低いと判断し、実際 RWY CHG になった時点で Set 等を行うことを共有して Pushback を Request した。

GND からは“RWY Change in Progress, Pushback Approved” 定刻前だったので Hold Position を Request して準備することも考えたが、訓練目的で Push Back 中に準備を行うことを優先させてしまった。

Pushback を開始して、CDU Set 並びに OPT 計算、その後の準備は ENG Start 完了後に行うことを表明した。Pushback 後は、RWY CHG のため通常より Taxi が少々遅れることを伝えてから Interphone を Disconnect、FLAP Set を Order した。FLAP Set したことで、Before Taxi Checklist までやったつもりになってしまい、Hand Signal を失念した。

その後、残りの準備を行った。その間地上スタッフは Hand Signal を送ってくれたのだろうが、外部監視が疎かになり、気付くことはできなかった。Workload も少し高まっていたので、Taxi Request の前に「忘れものはないですかね？」等 Communication をとったり再確認したりしたものの、失念に気付くことはできなかった。Taxi 許可を得て出発。

PM は地上スタッフの様子に違和感を覚えていたそうだが、それを発話につなげるような Team Building はできていなかった。EICAS MSG で Checklist 失念に気付き、直ぐに減速して Checklist を実施、地上スタッフ等も十分機体から離れていることを目視確認できていたので運航を継続した。訓練だからと通常のオペレーションを離れる怖さを知り、また、有償フライトでの安全の確保の大切さを痛感した。

#### ★VOICES コメント

出発時の地上係員とのコミュニケーションエラーは、地上係員の怪我に直結する場合があります。特に インターフォンを離れてからは、Hand Signal が重要なコミュニケーションの手段であることを忘れてはいけませんね。

#### <②ダウンウォッシュ>

(その1) 物輸作業現場の安全パトロール中、ヘリコプターが場外ヘリポートに進入の際にヘリポート近くにあった空ドラム缶を入れた袋およびビニールシートがダウンウォッシュで移動した。事前確認はしていたが不十分であった。

#### ★VOICES コメント

ダウンウォッシュはローター通過速度の 2 倍まで加速し、高度 50m くらいで最も収束して強くなり、その後はやや拡散していきます。その水平方向への影響は、概ねローター直径のおよそ 3 倍の範囲におよびます。

このことを認識して対応することが大切です。ローター通過速度はベル式 412EP で 11.93m/s、AS332L1

で 13.55m/s。なお、FEEDBACK 2018-02-101 に同様事例が報告されているので参考にして下さい。

(その 2) 空港内の Spot から防災ヘリコプターが緊急運航の要請で出発する際、タクシーすれば近くを通る Spot に駐機していた小型機のカウリング、ドア等が開放状態であった。このため、防災ヘリ機長から当該航空機の乗員に対し、付近通過時にダウンウォッシュの影響がある旨の通報を行い、安全対策をとってもらった。KY (危険予知) 等、日頃から安全対策に留意していることが生かせたと思う。

#### ★VOICES コメント

日頃から行っていた KY (危険予知) が役立ったようです。CRM スキルの 1 つである状況認識スキルでは、状況の把握、予測、共有の 3 つの要素があります。報告者が述べているように、タクシー中における問題の把握、小型機への影響を予測、そして関係する乗員へ通報 (共有) された成功事例と考えます。なお、ヘリコプターがホバリング移動する際は、ダウンウォッシュが人員・地上物件等に与える影響が大きいことから、当該操縦士はもちろんのこと、その周辺で作業等を行っている人たちも十分注意することが大切です。

(その 3) 着陸した空港のヘリコプター用スポットが工事のためにクローズされていたので、着陸後に貨物ヤード付近の旅客機用スポットがアサインされた。貨物ヤードには、旅客機用カーゴコンテナが 30 個程度、地面に直接に置いてあった。ヘリコプター着陸時にそのうち 10 個程度のコンテナが大きく動き、数個は 10m 以上移動してしまった (物損なし)。その後、コンテナを置く場所は変更となった。

#### ★VOICES コメント

類似事例が FEEDBACK 2020-02-63 にも報告されていますが、近くにダウンウォッシュの影響を受ける物件等があった場合、「もしかしたら…」という意識と、ダウンウォッシュに関して、機体重量、路面の状況、風、ホバリング高度を考慮して、ホバリング周辺の人員・物件等に対して十分な配慮が必要ですね。また、空港管理者は、スポット変更にあたって、変更先スポットがどのような環境あるいは利用状況にあるのかを理解しておく必要がありますね。

★  
[4] 【お知らせ】 セミナー・イベント  
★

《航空安全講習会》

2021年1月29日（土）＜北海道＞

2021年3月12日（土）＜東京＞

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《小型航空機セーフティセミナー》

2022年2月3日（木）～4日（金）＜神奈川 & オンライン＞

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=6>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

2022年2月12日（土）＜沖縄＞

2022年2月19日（土）＜愛媛＞

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

《SRM セミナー》

2022年2月21日（月）＜東京＞

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★—————

[5] 【お知らせ】 第 43 回 ATS シンポジウム 動画公開

★—————

2021 年 10 月 30 日に実施した第 43 回 ATS シンポジウムの動画を公開いたしました。以下よりご覧ください。

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=8>

★—————

[6] 【お知らせ】 第 16 回航空気象シンポジウム 資料公開

★—————

2021 年 11 月 20 日に実施した第 16 回航空気象シンポジウムの資料を公開いたしました。以下よりご覧ください。

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=7>

★—————

[7] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について

★—————

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：1 月 17 日（月）～（終了に関しては別途お知らせいたします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-16：00

★—————

[8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

\* \* \* \* \*

★次回の配信は2月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

-----  
【発行】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>  
-----